

第13回 スマートコミュニティ実現検討特別研究グループ 議事録(案)

2015年3月26日

日時 : 平成27年3月12日(木) 14:00~17:00

場所 : 自動車会館(市ヶ谷) 1階会議室

出席者:

主査: 安田(首都大東京)

委員:

石亀(大阪府大)、緒方(東京ガス)、相吉(慶應大)、鈴木(東海大)、
小林(日立)、小牧(日立)、所(電中研)、山口(電中研)、荻田(東芝)、
松井(富士電機)、菅野(富士電機)

オブザーバ:

榊原(富山県立大)、田中(東京電力)、北島(東京電力)

(敬称略)

配布資料:

SCSG-13-0	議事次第
SCSG-13-1	第12回議事録
SCSG-13-2	全国大会シンポジウム 関連資料
SCSG-13-3-1	「エネルギー供給モデル」 資料
SCSG-13-3-2	「エネルギー需要モデル」 資料
SCSG-13-3-3	「モデル活用」 資料
SCSG-13-3-4	「課題と発展」 資料
SCSG-13-4	今後の予定など

議題:

1. 前回議事録確認(10分)
2. 全国大会シンポジウムについて(10分)
3. スマートコミュニティモデルについて(30分×4)
 - (1) スマートコミュニティにおけるエネルギー供給モデル(山口委員)
 - (2) スマートコミュニティにおけるエネルギー需要モデル(松井委員)
 - (3) スマートコミュニティモデルの活用(菅野委員)
 - (4) スマートコミュニティモデルの課題と発展(所委員)
4. 今後の予定など(所委員)(10分)

1. 前回議事録確認

・第12回委員会の議事内容の確認をし、委員の皆様の了承を得た。

2. 全国大会シンポジウムについて(安田主査)

東京都市大(旧 武蔵工業大)にて、2015/3/24-26に開催予定。

本研究Grの発表セッションは、3/24 13時~17時。

3. スマートコミュニティモデルについて

全国大会シンポジウムでご発表予定の内容について各委員から発表を行い、確認・議論を行った。

3. 1 スマートコミュニティにおけるエネルギー供給モデル (山口委員)

(質疑応答)

- ・相吉委員) 図1での“コスト”の表示の意味は?
⇒ スマコミがやりとりする費用を意味している。
- ・石亀委員) 電力ロードカーブで、7時が1日のピークになっているがよいのか?
鈴木委員) 鉄道の比率が大きいがよいのか?
⇒ この資料では、仮のデータとしていれている。
- ・小林委員) 原料コスト、燃料コスト などと定義されているが、名称を統一したほうがよいのでは?

3. 2 スマートコミュニティにおけるエネルギー需要モデル (松井委員)

(質疑応答)

- ・緒方委員) “1. はじめに” シートの全体評価のところには、コスト、CO₂と同じように、エネルギーもいれるべきでは
⇒対応するよう検討する。
- ・相吉委員) エネルギーフロー図において、自由度を把握した上で、決定変数、従属変数を明確 (何をいれると何が決まるか) にすることが重要である。
- ・緒方委員) 家庭分野のエネルギーフロー図において、瞬間湯沸器から蓄熱槽へのラインはないほうが正確では。
⇒このつながりの部分は消す (図を修正する)。
- ・小牧委員) 鉄道モデルでは、現状、蓄電池、PVはモデルとしてはいっていないが、今後いれる必要があると考えている。
- ・緒方委員) “産業分野のパラメータ” のシートにおいて、本来は先にインセンティブがあって、それからDRがあるので、“電力分野からのDR要求量” の表現は今後要検討と考える。
- ・小林委員) “1. はじめに” シートにおいて、各分野からの出力のところに、 x_n 、 x_m など違う倍率であることがわかるようにすべきでは。

3. 3 スマートコミュニティモデルの活用 (菅野委員)

(質疑応答)

- ・北島委員) ロードカーブの形が現実的でない。
⇒モデルの合わせこみのしかたなど、今後検討が必要である。現状は、全体の消費電力量に合わせて各モデルの倍率を決めており、このあたりのやり方を今後検討していく必要がある。
- ・小林委員) 富山市を想定したという表現はあまりよくないのでは (前面にださないほうがいいのでは)。
- ・北島委員) スマートコミュニティ全体モデル の電力バランスの図において、“自家発” という表現は、“エリア内供給” などとすべきでは
- ・荻田委員) スマートコミュニティ全体モデル の電力バランスの図において、“自家発” を含めたグラフのタイトルが、“電力供給” となっておりこれはふさわしくないのでは。

3.4 スマートコミュニティモデルの課題と発展 (所委員)

(質疑応答)

- ・田中委員) “課題：電力の電圧・周波数の計算” のシートで、“電圧、潮流、周波数の評価” は、いれないほうがよいのでは (現状のモデルの課題のレベルにあっていないかもしれない)。
- ・北島委員) “電圧、潮流、周波数の評価” は、“電力品質の評価” などとしたほうがよいかもしれない。
- ・榊原委員) S o S(system of System)としての議論も重要である。

4.今後の予定など(所委員)

後継の委員会では、まずは、進め方について十分なディスカッションが必要である。このなかで評価シナリオを絞り、モデル拡張を実施していきたいと考えている。

以上